

校訓【理想 友愛 協力】

教育目標

自立と共生をめざし、人間力を磨き続ける生徒の育成

令和4年度 教育目標を具現化する方策

- ① 教育課程の編成
学習指導要領の全面実施2年目として、趣旨を踏まえた教育課程を編成する。各種行事や体験活動を通して、人権感覚を育む。
- ② 学びに向かう力の育成
生涯にわたって学習することの楽しさを体感できる場を設け、意欲的な学習態度を育てる。学校教育全てにおいて、どの生徒にも成功体験（達成感・喜び）を体感させる。また、どの生徒にも自己存在感のある指導を行い、生徒が協力し合いながら学び、一人ひとりが個々の能力を最大限発揮できるようにし、自己教育力を高める場になるように工夫する。
- ③ 指導体制と実践力の育成
教職員が互いに連携し合い、協力しながら、効率的な指導体制の改善を図る。どの生徒にも役割ができるチャンスを与え、学級が明るく自ら学ぶ場となるよう話し合いや実践的活動ができるよう働きかける。
- ④ 指導法の改善
すべての教科・領域において主体的・対話的で深い学びの実現に取り組み、生徒が主体的に活動する体験を通し、意欲的な学習態度の育成を図る。個別最適化の学習の実現をめざし、基礎・基本の徹底と個に応じた指導を工夫する。ICTの積極的な活用、TT指導等によりきめ細かな指導を実践する。
- ⑤ 道徳教育の推進
特別の教科道徳の時間を中心にして、学級活動及び学校生活全体を通して、社会生活を営むための人間形成をめざし、対人関係において必要な徳性を育む。
- ⑥ 特別支援教育の推進
障害のある生徒一人ひとりの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。
- ⑦ 健康・安全・体力増強
生涯にわたり健康で安全な生活を営むため、その基礎となる健康な心身を養う。生徒に運動の達成感を味わわせ、体力向上に努める。
- ⑧ コンプライアンス意識の維持・向上
生徒の未来を担う崇高な使命を課せられた教職員として、チーム学校の一員としての法令遵守の意識の維持・向上に努める。
- ⑨ 保護者との連繋
保護者に伝えることは速やかにする。日常的な課題のみならず、生徒の将来について話し合い、相談できる関係づくりに努める。率先して挨拶の励行に努める。
- ⑩ 高松型コミュニティースクールを推進
学校運営協議会を核として、外部支援による教育活動の推進を図る。

【めざす生徒像】 《心豊かでたくましい生徒》

- (1) 自らの生き方・進路を自ら考え、その実現をめざす生徒
- (2) 自分の思いを伝えることができ、互いに認め合い協力し合う生徒
- (3) 目標をもち、主体的に取り組もうとする生徒
- (4) 挨拶がよくでき、自らを律することのできる生徒

【めざす教師像】 《信頼される教育者》

- (1) 高い志をもち、生徒から尊敬され、保護者から信頼される魅力ある教師
- (2) 主体的に授業力・指導力の向上に努め、工夫してよくわかる授業を実践する教師
- (3) 生徒の活動を大切にし、生徒一人一人に寄り添い支援を惜しまない教師
- (4) 明るい挨拶ができ、協働して学校運営に携わる教師

【山中のスローガン】「めざせ!! 勇気あるチャレンジャーであるとともに、 勇気づけるサポーター!」

結果を怖れないで一歩勇気をもち、本気でチャレンジすることにより学力アップ、体力アップ、生活力アップにつなげる。また、その一歩の勇気を後押しする支持的風土づくりに貢献することで自己有用感を高めるとともに、相互理解力アップを図る。学校行事、学級活動、教科指導等、生徒にチャレンジとサポートを働きかけ、できた喜びと他者や集団生活の向上に貢献する充実感を、生徒と教職員間で共有することで、生涯学習を視野に入れた学びの好循環を図る。

特色ある教育活動等

- (1) 現職教育の充実（令和5年度香中研理科部会研究大会当番校）
- (2) 道徳教育の推進
- (3) 人権・同和教育の推進
- (4) 食育の推進
- (5) 小中連携の推進
- (6) ボランティア活動・あいさつ運動の推進
- (7) 家庭・地域との連携
- (8) 話し合い活動を中心にすえた特別活動
- (9) 歌唱活動の充実と直接体験